

12月11日に1年生進路懇談会で、各方面から講師をお招きし、その職業に関する仕事内容の説明や質問への回答をしていただきました。



現在私も校長室で1年生の面談をしていますが、卒業後や将来のイメージを十分に持っていない生徒が多く、今回の懇談会は大変貴重な時間となったと思います。何をすることも動機づけは大切です。自分のこととして考え、自分しさを発揮して充実した仕事ができるようになってほしいと

思いますので、進路ガイダンスと合わせてしっかりとした職業のイメージを持ってください。お忙しい中、来ていただいた講師の皆様、ご協力ありがとうございました。

12月12日は、柔道の全国選抜大会を賭けた県大会が行われました。先の新人大会で各階級ベスト8に入った選手が再度試合をして、出場者を決めます。計量が当日行われるため、調整が難しかったようですが、



本校は男子60kg級、81kg級と女子48kg級、57kg級、63kg級に出場し、全国大会出場を目指しました。先の新人戦では男女合わせて3階級を制し、期待が膨らむ中試合開始。男子60kg級では、高橋選手が計量の影響から体が痙攣しながらの試合でしたが、見事勝利を収め優勝。全国大会出場第1号となりました。81kg級では、代表決定戦が本校同士の戦いとなり、



腰痛を抱えながら出場した菊川選手が、先の新人大会覇者の長谷川選手を破り優勝。2階級での全国大会出場を決めました。表彰式の後、菊川選手は神戸新聞の取材を受け、翌日運動面に写真入りで掲載されました。一方の女子は、48kg級で横山選手が1回戦を勝ち上がり準決勝に臨みましたが、惜しくも敗戦し、3位に。57kg級で増田さんは決勝まで



で勝ち上がりましたが、惜しくも決勝で敗れ準優勝。63kg級は新人大会覇者の2年東嶋選手が出場。見事決勝で勝利を収め全国大会出場を決めました。狙っていた3階級すべてで出場を決め、出場した選手全員が3位以上という好成績。今年に賭けていた3年生の思いを存分にはらしてくれる活躍ではなかったかと思えます。全国大会に出場する選手は、ケガに気を付けて、近畿、全国と大きな舞台で勝負

してください。出場おめでとうございます。惜しくも負けた選手は、まずは近畿大会に向けて調整し、来年の総体を目指しましょう。兵庫県出身の阿部一三選手が東京オリンピック代表になりましたが、延長を含め合計24分にもわたる試合の上での決定ということで最後まで諦めない攻める姿勢を見せてくれました。勝っても、負けても多くのことが勉強になります。大会を支えていただいている方々への感謝の気持ちを忘れず練習に励んでください。引率の先生方もお疲れ様でした。

12月14日は、1年生対象にSNSに関する講演会があり、NIT 情報技術推進ネットワーク株式会社から筒崎真美氏に来ていただき、生徒たちはSNSの正しい活用方法と、乗っ取り被害を受けないためのセキュリティのかけ方などを学ぶことができました。とてもテンポの良い説明で、実際の画面を見ながらのチェック方法などを教





えていただき、「エッ」と思うこともあったようですが、真剣に聞くことができたようです。生徒たちだけでなく、私たちも情報流出には十分に気を付けなければなりません。また、情報を掲載する場合も、言葉の使い方や表現方法などは十分に注意をしなければなりません。自らの発信方法についても十分に注意をして、気持ちの良い情報交換ができるよう努めていかねばならないと思っています。私たち教職員もSNSを利用する際には十分に気を付けなければなりません。よろしくお願いいたします。

また、1年生は講演会の後、更衣をして陸上競技場前に集合し、PTAの



役員の方々と一緒に校外の清掃活動をしました。北風が冷たい中、約1時間、学校周辺の清掃に取り組みました。寒い中 PTA

役員の皆様ご協力ありがとうございました。また1年生の皆さんお疲れ様でした。

12月も中旬に入り、寒さが一段と厳しくなってきました。新型コロナの影響もまだまだ終息が見えず厳しい状況です。この時期にできることは、とにかく密を避ける、どうしても避けられない場合はマスクの着用、換気です。また食事の際は、マスクを外して話をしないように気を付けることも大切です。教室では、現在暖房を入れながら教室の天窓を開けて、換気扇を回しっぱなしの状況で換気を図っています。衣服の調節については申告制で本校指定のヤッケやひざ掛けは許可しています。休み時間の空気の入替えはするように言っていますが、これからますます寒くなってくるとなかなか継続しづらいこともできます。しかしながら今はできることをしっかりやっていくことで予防するしかありません。同時に感染拡大を防ぐには、個人の努力にお願いすることしかないのです。規制を加えたところで、守れない人や忘れる人がいるのはつきものです。感染予防への意識を高め日々の生活を送りましょう。